

市民と議会を結ぶ架け橋

議会だより

上野原市

『上小チャレンジ』手話教室
手話を学ぼう!


No.42
2015年
7月発行

第2回定例会	2	議決結果等一覧表	9
委員会の審査	6~7	一般質問	10~15
閉会中の委員会活動	8	市民の声・議会活動	16

(仮称)

新上野原保育所建設工事 請負契約締結を可決

契約相手 長田組土木株式会社 (甲府市飯田)
契約金額 5億9,130万円

(仮称)新上野原保育所は、平成29年4月開所に向けて、建設が進められます。

市内初となる園児200名規模の保育所は、保護者のニーズを的確に把握し、一時保育や夜間保育、病後児保育の実施をはじめ、子育て支援センターを併設し、多様化する保育需要に応えられる保育体制の推進を目指します。



所在地	上野原市上野原字上野地内
構造	木造 地上1階 準耐火建築物
敷地面積	7,118.88㎡
建築面積	2,318.02㎡
床面積	2,164.36㎡

第2回 定例会

平成二十七年第二回定例会は、六月五日から十九日までの十五日間の会期で開催されました。専決処分の承認七件をはじめ、条例の改正や平成二十七年年度一般会計補正予算、(仮称)新上野原保育所建設工事請負契約締結など市長提出議案十七件のほか、請願三件を審議しました。各議案の議決結果については、九ページをご覧ください。

市道八ツ沢大柵線交差点 改良工事請負契約締結を可決

契約相手 井口建設株式会社
(上野原市新田)

契約金額 1億7,388万円

上野原高校入口交差点。

市道八ツ沢大柵線から国道20号に右左折する際、見通しが悪く、左折時は交差角度が鋭角になり、国道下り車線にはみ出してしまう状況でしたが、道路線形を対面する県道新田松留線の中心線と直線上になるよう設定し、道路拡幅及び交差点を改良することで、事故の防止が期待されます。

工事着手は平成27年6月22日で、完成予定は平成28年3月25日です。



消防署用高規格救急車 購入契約締結を可決

契約相手 山梨トヨタ自動車
株式会社都留店

契約金額 3,229万2,000円

写真は、現在消防署で使用している高規格救急車。

年数が経過したり、走行距離の基準を超えた車両を、順次入れ替え、いざという時の救命救急に備えます。





人事

▼固定資産評価員の 選任の同意

上野原市上野原

一八八〇番地二三

上條昭仁 氏

専決処分の承認

▼税条例等の一部を 改正する条例制定

ふるさと納税ワンストップ特例制度の創設や、住宅借入金等特別税額控除対象期間の延長、軽自動車税のグリーン化特例の創設、旧三級品たばこの税率廃止などにより、条例の一部を改正するもの。

▼国民健康保険税条例の一部を改正する 条例制定

保険税の医療保険賦課額に係る限度額を五十一万円から五十二万円に、後期高齢者支援金等賦課額に係る限度額を十六万円から十七万円に、介護納付金賦課額に係る限度額を十四万円から十六万円に引き上げるなどの改正を行うもの。



▼平成二十六年 一般会計補正予算（第六号）

（仮称）総合福祉センター事業設計業務委託料や被災農業者向け経営体育成支援事業に係る経費及び消防庁舎建設事業契約差金等の減額により、一億四百七十五万八千円を減額するもの。

▼平成二十六年 国民健康保険特別会計 補正予算（第四号）

療養給付費や、一般被保険者及び退職被保険者の高額療養費、保険財政安定化事業拠出金などが確定したことなどに伴い、一億四千九百九十九万三千円を減額するもの。

▼平成二十六年 介護保険特別会計補正 予算（第四号）

平成二十七年法改正に伴う、システム改修費が確定し、三十一万三千円を減額するもの。その他、財源更生により補正するもの。

▼平成二十六年 共下水道事業特別補 正予算（第四号）

水道企業団下水道使用料検針委託料の確定や、桂川流域下水道維持管理負担金更正に伴う減額と宅地内排水設備設置工事

費補助金確定に伴い、三千六百五十五万九千円を減額するもの。

▼平成二十六年 上野原市病院事業会計 補正予算（第三号）

病院事業会計資本的収入及び支出のうち、収入として県補助金二百十六万円を増額し、収入総額を八千八百四十八万二千円とし、支出として機械及び備品整備費二百二十六万八千円を増額し、支出総額を一億一千四百九十六万八千円とするもの。



主な条例改正

▼上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定

介護保険法の一部改正に伴い、所得段階が第一段階から第三段階の方の保険料を軽減するため条例を改正するもの。

その他の議案

▼平成二十六年 上野原市継続費繰越計算書の報告

「中央自動車道スマートIC関連事業」及び「境川改修事業」を平成二十七年に繰越する報告。

所得段階	軽減前保険料	27・28年度	29年度
第1段階	30,000円	27,000円	18,000円
第2段階	45,000円	45,000円	30,000円
第3段階	45,000円	45,000円	42,000円

※ 第4段階から第9段階の方の保険料は変わりません。

事業名	翌年度通次繰越額
中央自動車道スマートIC関連事業	60,646,000円
境川改修事業	8,160,000円
合計	68,806,000円

一般会計（事業名）	翌年度繰越額
上野原市総合戦略策定事業	10,006,000円
県議会議員選挙費	1,100,000円
（仮称）総合福祉センター事業	350,642,000円
介護保険特別会計繰出金	2,139,000円
第3子以降保育料無料化事業	13,951,000円
保育所適正配置推進事業	91,710,000円
在宅医療連携拠点整備促進事業	3,975,000円
被災農業者向け経営体育成支援事業	17,534,000円
用排水施設整備事業	1,625,000円
山梨県営生活関連林道開設事業	5,354,000円
地域住民生活等緊急支援事業	57,574,000円
地域資源等を活用した観光振興事業	16,764,000円
市道ハツ沢大柵線改良事業	68,726,000円
上野原駅周辺整備事業	29,641,000円
四方津駅バリアフリー化整備事業	10,498,000円
合計	681,239,000円
介護保険特別会計（事業名）	翌年度繰越額
介護保険システム改修事業	4,277,000円
合計	4,277,000円

▼平成二十六年年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告

「上野原市総合戦略策定事業」や「（仮称）総合福祉センター事業」など二十六事業について、平成二十七年年度に繰越する報告。

（左表参照）

▼上野原市道路路線の変更

市道上新田諏訪二号支線から、七号支線までの六路線における道路の適切な管理のため、路線番号・路線名・起点・終点を変更するもの。

平成二十七年年度

一般会計補正予算

（第一号）

総務費

▼「マイナンバー制度」

冊子印刷代百三十万円。

▼先導的官民連携支援

事業二百七十万円。▼秋

山支所耐震工設計委

託料五百五十万八千円。

▼秋山支所旧議場等改

修工事請負費六百五万円。

消防費

▼巖分団第三部ホース

乾燥塔設置工事請負費

二百十五万円。▼巖分団

第三部プレハブ倉庫設

置二百三十五万円。▼巖

分団第三部既設消防庫

解体負担金二百八十六

万二千円。

教育費

▼実践的防災教育推進

事業（秋山小学校及び中

学校における防災教育を

中心とした安全教育・安

全管理の取り組みを行う

事業）八十万二千円。

▼教育課程研究指定校

事業費（上野原西中学校

において教育課程・指導

方法等の調査研究を行い、

学習指導改善充実及び教

育課程の基準の改善を図

る事業に係る経費）二十

三万四千円。▼四方津学

校給食調理場修繕費二

百万円。

請願

1	<p>上野原市民カレンダー復活のお願いに関する請願書</p> <p>提出者 上野原写真クラブ 会長 菊池和夫氏 紹介議員 東山洋昭</p>	採 択
2	<p>安本法制の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願書</p> <p>提出者 沖田真澄氏 ほか10名 紹介議員 川田好博</p>	継続審査
3	<p>上野原市立新保育所建設に関する請願書</p> <p>提出者 畑野悦男氏 ほか2名 紹介議員 村上信行、杉本公文、川田好博</p>	不採 択

委員会の審査 総務産業常任委員会

付託案件 7件

補正予算 1件
市道路線の変更 1件
契約締結 3件 請願 2件

▼市道八ツ沢大柵線
交差点改良工事請負
契約締結

問 この事業にかかる
入札条件は。

答 地域要件は、県内に本店があるということ
です。実績要件は、請負金額四千万円以上の工事実績があることで、経営事項審査総合評定値が九百点以上であることが必要です。

審査結果

じられているので、国の対応を注視しながら安全対策に努めていきます。

▼(仮称)新上野原
保育所建設工事請負
契約締結

問 契約相手は市外の業者だが、市内で入札参加した業者はあったのか。

答 入札要件である地域要件、実績要件、経営事項審査の総合評定値で該当する業者がなく参加しておりません。

▼上野原市民カレンダー復活のお願いに関する請願書



要旨

現在発行されている「ごみ収集日カレンダー」に、風光明媚な景観や地域の祭りや行事等の写真を掲載し、以前発行されていた町民(市民)カレンダーの復活を

お願いするもの。

審査結果

異議なく全会一致で、採択すべきものと決しました。

▼安保法制の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願書

要旨

単に外交・防衛問題だけではなく、国内の国民生活にも大きな影響を与えるものと考え、憲



法との関連も考えると国会での十分な審議とともに、国民の意見を十分に取り入れて判断すべき問題であるため、国会両院での慎重な審議を求める意見書の提出を求めるもの。

意見

「国会で慎重に審議中のところに意見書を出す必要はない。」「自身を委員の中でもっと勉強した方がよく、継続審

審査結果

採決の結果、継続審査とすることに決しました。

問 マイナンバー制度におけるセキュリティは。

答 安心安全を確保するため制度面、システム面の両面で大変厳しい制約がされ、収集・保管の禁止や本人確認の義務付け、システム面では行政機関での情報のやり取りはマイナンバーを直接使わない等様々な対策が講

【主な議案の質疑】
▼平成二十七年年度上野原市一般会計補正予算(第一号)

委員会の審査 文教厚生常任委員会

付託案件 4件

条例改正 2件

補正予算 1件 請願 1件

【主な議案の質疑】

▼上野原市介護保険
条例の一部を改正す
る条例制定について

問 低所得者の保険料の軽減については理解したが、それでも市民にかかる負担は大きいと感じる。現在、所得段階が二段階から三段階の方の人数は。

答 六月一日現在、所得段階が第三段階の方は、千五百七十七人。第二段階の方は、四百六十四人。第

三段階の方は二百四十九人です。

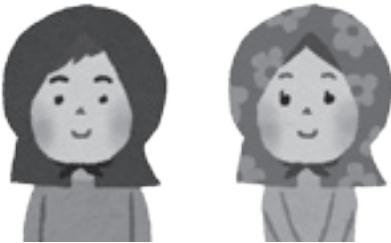
▼平成二十七年度上野原市一般会計補正予算（第一号）

問 今後あり得る、災害のために行われる実践的防災教育推進事業について、秋山小学校及び秋山中学校を対象にしているが、防災の意識を高めるといふことで、全体を考へて進めていただきたいのだが、今後他の学校への実施予定はあるのか。

答 今回、指定校制度と
いうことで、同じ地区内
にある秋山小学校及び中
学校を選定しました。日
頃から避難訓練や子ども
の引き渡し訓練等は行っ
ていますが、今回、緊急地
震速報システムを学校に
設置し、そこで訓練を行っ
たり、新たに情報を収集
し、その成果を見た中で、
判断していきたいと考え
ております。

審査結果

当局から提出された条
例改正二件、補正予算一
件について、採決した結
果、全会一致で可決すべ
きものと決しました。



▼上野原市立新保育
所建設に関する請願

書

要旨

一私人の使用に
供するための敷地内道路
が最初に条件づけられた
新保育所の現在の設計
は、「保育所保育指針」の
主旨を損なうものとなっ
ているため、「敷地内道路
をなくし、車両スペース
は入り口近くに集中さ
せ、ロータリーを設ける
こと」「前地権者の生活の用
に供するための道路は保
育所敷地外に設けること」
「西向き設計を見直し
て、東と南を開けた設計
にすること」を求めたも
の。

問 なぜ、西向き設計にしたのか。なぜ前地権者の生活の用に供する道路を造らなければならなかったのか。

答 心配される朝の日差しについては、富士見が池側の木を伐採すること
で、日差しが園舎に入

るようになりま。その
うで、日陰の確保に苦
慮している状況のなか、
紫外線対策として西側に
向け、ひさしを長くする
ことで対応できる設計を
考えました。

審査結果

異議があり、起立採決
した結果、賛成者の起立
少数により、本委員会お
いては不採択とすべきも
のと決しました。



上野原市立病院の運営状況



四月二十七日、閉会中の継続調査として、長寿健康課担当職員に加え、主管課からの説明要員として市立病院管理者及び次長同席のもと、市立病院の運営状況についての調査を行いました。

長寿健康課の説明によると、市立病院の経営状況は、経常利益については平成二十一年度から赤字が続き、二十六年末末累積赤字が約三億九千万円になる見込みであるとのことでした。

赤字に大きく影響したもののとして、減価償却費相当分の使用料の増加や、二十五年末から運営交付金が大幅に減少したことが考えられるとのことでした。

病院の運営改善や課題解決を図るため、市立病院運営委員会からの答申を受け、定期的に協議を行う必要があることから、今後は二か月毎に市長・管理者を交えた管理運営協議会を開催するほか、毎月事務担当者レベルでの調整・協議を行うとの説明を受けました。

委員 赤字の増加で経営が厳しくなり、十年後に上野原市から撤退してしまうことになると思うのが、少しでも利益が出るような努力の仕方はあるのか。協会としてどう対応するのか。

病院管理者 赤字については当然改善しなければならず、途中で投げ出す

ようなことは考えていません。市立病院では二十六年末に二名、二十七年の五月連休後には更に二名の医師を増やし、診療体制の強化充実を図っています。入院や外来を含めて診療実績を上げ、運営改善に努力をしていきたいと思っています。

委員 診療日によって担当医師が変わることや、担当医師によって患者に対する対応が違うのはどうか。

病院管理者 早急に実態を把握し、接遇を含めた教育指導を行い、対処改善を図っていききたいと思っています。

委員 会計の際、フレジット・カードでの支払いを可能に出来ないか。

福祉保健部長 指定管理者と今後協議を重ねながら、詰めていきたいと思っています。

その他意見・要望

◆協議会の中で運営状況をしつかり分析し、その結果を議会や市民に報告することが大切。

◆入院患者・外来患者が減少しているが、人口減少だけが減つた要因とは考えられない。病院経営を改善するためには、患者数が大きく影響するもので、その要因についても市が責任を持って分析する必要がある。

◆新たに配備した最新医療機器のPRを積極的に実施し、受診率の向上を目指してほしい。

委員会の総意

今後の病院運営においては、管理運営協議会や事務レベルでの調整・協議等を十分活用し、市民のニーズにあった診療体制を確立するよう要望しました。

平成27年第2回定例会議決結果等一覧表

(○賛成討論者 ●反対討論者)
 ○賛成 ●反対

種別	議案番号	案件名	付託委員会	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果			
専決処分	60	上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について																			承認		
	61	上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について																					
	62	平成26年度上野原市一般会計補正予算(第6号)																					
	63	平成26年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○			
	64	平成26年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第4号)																					
	65	平成26年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について																					
	66	平成26年度上野原市病院事業会計補正予算(第3号)について																					
条例改正	67	上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について																			原案可決		
	68	上野原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び上野原市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○			
補正予算	69	平成27年度上野原市一般会計補正予算(第1号)	総務産業・文教厚生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決		
報告	70	平成26年度上野原市継続費繰越計算書の報告について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	受理		
	71	平成26年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について																					
人事	72	上野原市固定資産評価員の選任の同意について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	同意		
その他	73	上野原市道路線の変更について	総務産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決		
契約	74	(仮称)新上野原保育所建設工事請負契約締結について																			原案可決		
	75	市道ハッ沢大柵線交差点改良工事請負契約締結について	総務産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○			
	76	消防署用高規格救急車購入契約締結について																					
請願	1	上野原市民カレンダー復活のお願いに関する請願書	総務産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	採択		
	3	上野原市立新保育所建設に関する請願書	文教厚生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	◎	◎	◎	不採択		

※ 請願第3号の討論(上段)は、委員長報告(不採択とすべきもの)に対して行われたもの。表決(下段)は、原案に対して行われたもの。

市政を問う

10人の議員が一般質問を行いました。

◆川島秀夫 議員(10p)

- ・(仮称)新上野原保育所
- ・マイナンバー制度実施
- ・地籍調査

◆小俣修 議員(11p)

- ・新田字狐原畑地への雨水流入対策
- ・桂川橋上流域への周遊道路整備
- ・上野原駅南口時間貸駐車場の営業
- ・スクールバス運行委託にかかわる入落札結果
- ・神奈川県企業庁との土地交換提案
- ・市道の整備
- ・市立小中学校の夏季冷房化

◆杉本公文 議員(11p)

- ・情報通信基盤整備事業
- ・上野原保育所施設整備事業

◆尾形幸召 議員(12p)

- ・国の地方都市政策
- ・(仮称)新上野原保育所建設
- ・(仮称)総合福祉センター建設事業
- ・市債

◆遠藤美智子 議員(12p)

- ・子どもたちへのがん教育
- ・地方版総合戦略

◆川田好博 議員(13p)

- ・四方津駅周辺のバリアフリー化
- ・国民健康保険
- ・新保育所建設
- ・公営住宅の整備
- ・地域の集会所施設

◆長田喜巳夫 議員(13p)

- ・地方創生
- ・自然エネルギーの活用
- ・通勤者対策

◆久嶋成美 議員(14p)

- ・地域公共交通
- ・新上野原保育所

◆村上信行 議員(14p)

- ・情報通信基盤整備事業
- ・新上野原保育所
- ・市長の市政への基本姿勢

◆東山洋昭 議員(15p)

- ・公共福祉施設の建設等



川島秀夫

議員

その他質問

- ◆マイナンバー制度実施について
- ◆地籍調査について

新上野原保育所問題

質問 最近、新保育所建設反対のための一方的な記述文書が二回に亘り、新聞折込みで入り、議会や市長への誹謗中傷とも取れる内容で、市民に大きな混乱を招いています。そこで、新保育所建設のコンセプトについてお訊ねします。

答弁福祉保健部長

新保育所の在り方について保育所適正化審議会に諮問し、受けた答申により計画を進めてきました。現在の第一・第二・島田・桐原保育所を統合し二百人規模の新保育所を上野原地区に建設するとなっています。この答申を尊重し計画を進めて、子育て支援センター・病後児保育・二十四時間保育の実施という新たなメニューも加えながら開園を目指しています。

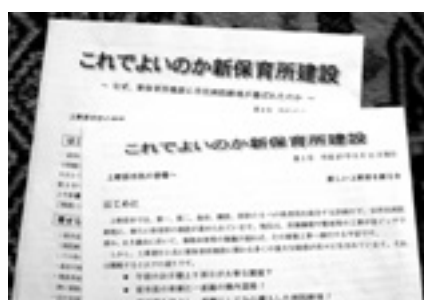
質問 施設の場所決定、土地取得の経緯についてお訊ねします。

答弁福祉保健部長

保育所適正化審議会の答申に基づき上野原地区内で二百人規模の候補地は極めて少なく多角的に検討の結果、旧市立病院跡地になりました。旧市立病院跡地は、借地のため賃貸借契約を解消し地主に返還後、新たに新保育所用地として地主と交渉し、購入契約を結んだものです。財源は、地方都市リノベーション事業として買収額の半分国庫補助、合併特例債で残りの半分充当、総額二億五千万円のうち実質市負担は四千二百三十万円で購入できました。この負担額は、従来の借地料の約六年分です。

質問 施設設計上留意した事についてお聞かせください。

答弁福祉保健部長 子供の安心安全を確保することを最重要視しました。子供を紫外線から守るための対策、火事などの緊急事態から守る対策を重



点に配慮しました。また前土地所有者と通路を共用するという考えは、土地交渉の中で限界まで敷地を有効に使う事で合意を得たものです。他にも、広い遊戯室やランチルームの設置など、健やかな成長を願った設計となっています。**答弁市長** この事業は、市の将来を担う乳幼児の健やかな成長、保護者の負担軽減と支援をするため、強い決意のもと私の判断で、決めたものです。立地その他最適なものと判断しています。



小俣 修 議員

その他質問

- ◆新田字狐原畑地への雨水流入対策
- ◆桂川橋上流域への周遊道路整備
- ◆スクールバス運行委託にかかわる入札結果について
- ◆市道の整備について



杉本公文 議員

上野原駅南口時間貸駐車場の営業について

質問 直近三ヶ月の利用状況はどのようですか。

答弁 都市計画課長 駐車可能台数は三十六台ですが、一日平均で、三月四十四台、四月四十五台、五月四十八台の利用がありました。

質問 この駐車場は二年間の実証試験で、来年六月末で終了とされています。くろがねやが営業を始めるまで二年間時間貸し駐車場がない空白が生じると考えているが、その間はどのようになるか。

答弁 都市計画課長 来年六月頃より造成工事等の予定で、時間貸し駐車場の撤去が必要となり、工事等完了まで空白期間が生じます。

質問 利用度の高い施設であるから、計画予定の施設建設に支障が出ないギリギリまで延長し、空白を最短にしていく方法を考えて欲しいが。

答弁 都市計画課長 事業に支障を来さない範囲で、営業の延長を土地区画整理組合と検討します。

神奈川県企業庁との土地交換提案

質問 旧島田中学校東側の企業庁の浚渫土砂一時置場と、上野原市が中区より購入し、企業庁に借している土地との交換が望ましいと考えるが、市はどう考えるか。

答弁 企画課長 提案いただいた土地交換については、今後土地利用計画等々、条件も含めた中で十分勘案しながら、神奈川県企業庁のご意見も伺ってまいりたいと思っています。

意見 企業庁もあの土地は必要であろうと思えます。上野原市にとって、景観を考えると、あの土地があれば本当に良くなると考えます。時間をかけて検討いただきたい。市立小中学校の夏季冷房化について



質問 山梨県内の小中学校の冷房実施はどうなっているか。

答弁 学校教育課長 富士北麓地区を除き、県内市町村では設置済みや、具体的に設置年度を設定し、順次導入の取り組みを進めている状況です。

質問 小中学校の冷房化は多額の予算が必要だが、優先度は高いと思います。どのように考えるか。

答弁 学校教育課長 二十八年度からの事業実施に向け、計画的な取り組みに努めてまいりたいと考えています。

情報通信基盤整備事業について

質問 UBCの経営は昨年の決算書では借入金が一億六千四百万、累積赤字が一億八千六百万円でテレビやネットの利用料を値上げ後も厳しい経営が続いている。市はUBCに年三千万円を援助する方針だが、テレビなどの利用料の値上げは。

答弁 企画課長 UBCが決定するもので値上げは現状では聞いていません。

質問 市はUBCと新たな資本参加と社長交代を条件に年三千万を支出する事を合意したが、放映料は無料にするなどの基本協定に反するが。

答弁 企画課長 基本協定はUBCから市への四億円の助成と、放映料や告知端末利用料などの市の費用負担は無料とされているものですが、昨年十二月の合意事項（三千万円）の履行がなされる段階で協定の取り扱いも含め検討していきたいです。

意見 告知端末や放映料を市が出すと言う事は基本協定という以前からの契約事項に反するもので、合意契約は二重契約となり法令に違反している。答弁が矛盾し整合性が無い。市は法令遵守を真剣に考えるべきでは。

上野原保育所施設整備事業について

質問 用地購入契約時に前所有者に施設内通路の通行を認める権利、民法に定める通行地役権を覚書として交わしましたが法令的な根拠は。

答弁 副市長 あやふやなことが言えないという状況の中で、こうですと言う説明はできないので申し訳ありません。

質問 地方自治法及び上野原市財産の交換、贈与、無償、貸与等に関する条例の第四条の二の二項の規程により、地役権の設定契約は明確に禁止

されている。もし分かったらなら職務怠慢、法令に違反するので再検討する考えは。

答弁 市長 購入に對しての交渉事であり、市と地権者との話合いや、意見のやり取りの中で最大限有利な方法を選択して契約しました。ご理解をいただきました。

意見 法律上、市の条例上、本来してはいけない地役権の合意契約をしている。できない事を市はしてはいけないと言っている。このままなら大変な事になります。





尾形幸召 議員

◆市債ついて

します。

野原保育所建設、総合福祉センター建設事業

質問 コンパクトシティとは。

答弁 都市計画課長 一般的に都市の中心部に行政、商業、住宅等様々な都市機能を集中させた形態で、中心市街地の活性化を図れます。

質問 シビックゾーンとは。

答弁 都市計画課長 市役所を中心とした公共公益施設が集積する市民生活の中心となる区域が設定されています。

質問 リノベーション事業とは。

答弁 企画課長 国土交通省都市局が所管する、社会資本整備総合交付金事業における都市再生整備計画事業に位置づけられた拡充事業で、事業対象経費の五十%は国から補助金が頂けます。医療・福祉・子育て支援・教育・文化・商業等が該当

質問 (仮称)上野原新保育所建設の土地購入資金、建物建設資金と、その国庫補助金は、

答弁 福祉保健部長 土地購入面積は七千六十八・〇六㎡、坪数では約二千四百二十二坪で、購入金額は二億五千二百万円、坪単価十一万四千円ですが、国の補助率五十%で一億二千六百万円が市の負担で、坪単価五万八千円です。この金額も合併特例債を活用するので、市の実質的負担額は四百二十三十万円です。坪単価では一万九千八百円の購入です。また、建物の建設工事資金は六億八千万円です。補助率五十%で、三億四千五百万円が国負担となり、市の負担額も同額ですが、合併特例債の活用により実質的な市の負担額は一億一千四百二十万円です。

質問 (仮称)総合福祉センターの土地購入資金、建物建設資金は、

答弁 福祉保健部長 上野原改良区からの土地購入面積は合計八千六百六十六・八一㎡、二千四百七十五坪で、購入資金は合計三億五千六十四万三千四百八十八円です。坪単価十四万九千九百三十三円です。建物の補助対象額は十一億七千万円、国の補助額は五億八千五百万円です。土地購入資金、建物建設資金とも、国の補助率五十%です。



遠藤美智子 議員

◆地方版総合戦略

子どもたちへのがん教育について

質問 がんは一九八一年より死因の第一位であり、山梨県でも二〇二二年には二千五百四十二人が、がんで亡くなっています。当市においても、二〇一三年には八十一人が、がんで亡くなっています。この年の亡くなられた人数の約三十%に相当します。二〇二二年に新たに策定された「第二期がん対策基本計画」に、がん教育が盛り込まれました。山梨県では、小六年生に保健の学習で、中三・高一年生に、保健体育の授業の一コマ以上を実施することですが、当市としてがん教育について、どのような認識をしているか。

答弁 学校教育課長 県では、毎年リーフレットを小六年生用に「がんのおはなし」、中三年生用に「もつと知ろう、がんのこと」を作成し、学校から配布していただき保健学習の時間、帰りの会などにリーフレットを利用し、がんに関する学習時間を設けたところです。

質問 国は、がん検診率五十%以上を目指していますが、当市の受診率は、

答弁 長寿健康課長 当市のがん受診率は、全体的に、年々増加をしていますが、胃がん検診の受診率は三十三・三%と、毎年低い状況です。また肺がんは、当市の死因別の死亡者数が一番多いので今後は、肺がん・胃がんの受診率向上に重点的に取り組んでまいります。

質問 二年前から、積極的ながん教育を実施している市の紹介をします。「いのちのがん教育」と題し、講師に医師を迎えて、がんについての講義を三十分、がん患者の話を十五分。終了後、アンケートを回収した結果、親のがん受診率アップと同時に子どもたちの食

生活や日常生活の改善にも、つながったとの事です。当市としても、今後、受診率アップにつながるような内容の濃い、がん教育を推進すべきでは。

答弁 学校教育課長 大切な命をがんで失うことのないように、小中学生のうちから、がんに対する知識、早期発見、早期治療の重要性を学んでいけるよう今後も、学校やがん対策関係者などの連携を深め、がん予防に対する児童生徒の理解と関心を深める学習活動を推進してまいります。

がんは身近な病気です

「がん」という病気を聞いたことがありますか？

- ・家族や知っている人で「がん」になった人はいませんか？
- ・もしも、身近な人ががんになったら、その人のために、あなたはどんなことができるでしょうか？



川田好博
議員

その他質問

- ◆国民健康保険について
- ◆新保育所建設について
- ◆公営住宅の整備について
- ◆地域の集会所施設について



長田喜巳夫
議員

その他質問

- ◆自然エネルギーの活用について
- ◆通勤者対策について

四方津駅周辺のバリアフリー化について

質問 基本構想の特定事業とその他の事業との違いは。

答弁 都市計画課長 特定事業については、事業者による事業計画の作成と、これに基づく事業実施の義務が課せられます。その他事業はバリアフリー法の対象外のものでも、重点整備地区内のバリアフリー化の推進に当たって必要な事業です。

質問 基本構想の駅周辺とは具体的にどこまでの範囲か。

答弁 都市計画課長 現在、JR東日本の調査設計を行っている結果や、今後国道管理者において策定される整備計画等をもとに、三者として協議をすすめる中で、整備方針等を検討していきたいと考えますので、現段階では具体的にどの範囲と申し上げることができません。

質問 基本構想で駅周辺

を整備するといったときに、どこまでがその範囲に入るのかとはつきりしないのはおかしいのではないか。

答弁 副市長 基本構想としては、駅周辺等整備ということでもコアブリッジなどを含めた周辺整備ということですが、

質問 JRと市との協定についてお示しいただきたい。

答弁 都市計画課長 JR東日本が事業主体となつて整備する四方津駅構内のバリアフリー化に関するものと、市が事業主体となり費用負担することとなるコアブリッジから四方津駅構内への連続性も視野に入れた改札口など、駅舎のあり方や構造の可能性などを含めた調査検討をするものです。

質問 住民は、コアブリッジまでのバリアフリー化を望んでいる。いつまでに実現できるのか。

答弁 都市計画課長 コモ



アブリッジと四方津駅の通路等の整備につきましては、国道管理者や鉄道管理者との三者協議を行っている。協議検討を進める中で、事業の完成時期等が具体的に明らかになってくると考えております。

答弁 副市長 誰がいつまでということではこれからということですが、

意見 JRや国道事務所の問題もあるけれども、なるべく早く実施して頂きたいというのが住民としての気持ちだとお伝えしたい。

地方創生について

質問 移住対策については、一つのキーワードになっているのが、イターン移住者です。この人たち、その地域に何らかの共感をもって移住してきています。イターン者の多いところには、Uターンする人も多くなっています。イターン者はその地域を新たな暮らしの場を選んだ理由として「人」を挙げています。

先輩の移住者、行政の担当者、集落の住民です。二十六年のNPO法人「ふるさと回帰支援センター」のふるさと暮らし希望調査で、山梨県が全国一位となりました。受け入れ体制を確立していくための諸政策にどう取り組むか。

答弁 企画課長 移住対策は、重要な政策課題と捉えています。情報発信を始め定住者の受け入れ環境の整備など進めていきます。具体的には、移住

者と受け入れ側との調整役が重要と認識しています。地域をよく知るNPO法人や移住体験者の協力を得ながら、地方創生交付金事業を活用しモデル事業として西原・桐原地域を対象に移住・定住の仕組みづくりに取り組めます。総合戦略の策定に向けては、ひと・しごとへの好循環を確立し、まちを活性化するための施策を円滑に推進するために、企画課政策推進担当内に特別命地方創生担当を配置し対応していきます。

長田喜巳夫

議員

地方創生について

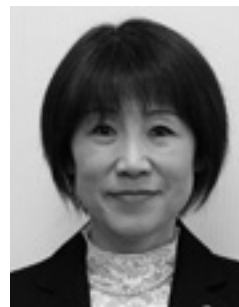
質問 空き家対策についてどう取り組むか。

答弁 経済課長 モデル事業として、西原・桐原地域を対象に移住・定住する人と空き家所有者とのマッチングを進めるためコーディネートする業務を実施していきます。

質問 滞在型市民農園の整備は。

答弁 経済課長 収穫の喜びを体験できるため、空き家対策と合わせ実施したいと考えています。





久嶋成美 議員

地域公共交通について
質問 デマンドタクシーの意義・目的は何か。
答弁 生活環境課長 高齢者、また免許を持つていない運転困難者等の移動手段の確保と、交通空白地域の解消を目的として運行しています。

再質問 免許を持つていない運転困難者とは学生も対象になると思うが、どう対応しているか。
答弁 生活環境課長 朝夕の通学は、路線バスを利用してほしいです。

再質問 朝夕の路線バスがいきなり廃止になった地域は、どう対応するのか。特に秋山地域は合併して十年、ずっと不便を強いられている。課長の地元のはずだが、秋山の西部地域は生活圏が都留市側にある。もっと細やかに住民の声に耳を傾けるべきだ。朝夕、増便できない理由は。
答弁 生活環境課長 時間的な問題や、タクシー業

者の業務の事も関係するので、増便が可能かどうか交通事業者の会議で検討させていただきます。

意見 他の自治体では、スクールバス、病院用バス、廃止代替バスを整備再編したり、広域的な連携で生活圏重視の公共交通を計画したり、固定概念にとらわれず、その都度見直しを考えています。ほかの自治体にできず、上野原市にできないわけがない。様々な事例を参考にしながら、常に利用者の利便性を考えて取り組んでもらいたい。

新上野原保育所について
質問 この保育所建設の問題点は何かと思うか。
答弁 福祉保健部長 これまでの議員にお答えした通りです。

再質問 答えになつていない。問題点として指摘した人はいない。改めて何う、問題点は何か。
答弁 福祉保健部長 強い問題点とすれば、過去



の議会において予算等、承認いただき成立したものに對して、それに反してチラシが出たことに困惑しています。

意見 旧病院跡地購入に当たり、前地権者が敷地内道路を自由に使えるという覚書、これが一番大きな問題点です。この問題は前回も取り上げましたが、多くの市民から異議の声が出るという事は議会や行政の責任として考え直す必要があります。

情報通信基盤事業について
質問 UBCでテレビを視聴する人は不安があるが。
答弁 市長 UBCとは昨年の合意事項に則り、新経営者の候補先を当たっています。

質問 二十三年第四期工事の際、市長はマニフェストを大きく変えて、本来UBCが支出すべきものを市で五千三百万円を支出したが、現在どのようになっているか。
答弁 企画課長 ONUを当初一千八百四十七台購入し、直近在庫は七百五十八台で、その合計金額は約四千九百万円です。

質問 四千九百万円が在庫という形で無駄になっている。この状況の中、補助金が受けられなかった共聴組合があるが。
答弁 市長 補助金を出すルールから外れたところは対象外としました。

意見 このルールは市が

作ったことを忘れないで欲しい。

新上野原保育所について
質問 国の幼保一元化政策を視野に入れた施設である。従来にも増して充実したものか。園庭面積が狭くないか。
答弁 福祉保健部長 施設基準をクリアしています。

質問 統合するのであるから大きなメリットを感じる施設こそが真の子育て支援と考えるが。
答弁 市長 「巖ごども園」では保護者も子どもも非常によかったと言っています。

質問 保育所適正化審議会の答申では、「周辺の市有地の活用を図る」等とあるが。
答弁 福祉保健部長 答申は、上野原市上野原の区域を示していると理解しています。

質問 病院用地の返還と同時に、敷金七百八十万円を市に返還することになっているが。



答弁 会計管理者 会計課で管理する資金ではないですが、入っています。

質問 公有地の私的利用は市条例、地方自治法等に違反と思われるが。
答弁 副市長 条例に違反しないと考えています。

意見 多くの市民はこの個人との共用道路について疑問を感じている。



村上信行 議員

その他質問
 ◆市長の市政への基本姿勢について

質問 福祉施設の建設等について 行政の責任と議会、議員の責任は非常に重い。この度の新上野原保育所に関するチラシ、ピラについて、議会と市民と行政がやはり共通理解をする必要があると思うが。

答弁 市長 市の運営、市民から負託された行政、市長と、それから議会、両輪となってこの市の発展のために協力して尽くしていくべきだと考えておりますし、議会の議決は非常に重いものと思っております。今回このようなピラというチラシが出てきましたので、その点に関し、行政側の市民に対する説明が若干不十分だったと感じていますので、この議会が閉会後この議会で答弁したことを中心に、市民の皆様によりわかりやすい言葉をもって説明をしていく予定です。是非ご理解いた

意見 わかりました。議会の議決というのは法的根拠にもなり得るわけですから、それを粛々と執行していただくことは大事なことだと思います。現在、その様な色々な話がある中で、やはり市長が言われたとおり、ここで質問したことに対して答えていただく。そのことを今、傍聴していただいている市民の方達、それからCATVを見ている方達にも、かつまた、新しく広報に入れたりしながら、市の考え方、今までの流れ、議会の流れとかそういうものを含めてお話をして行っていたら、市民の代表です。市民の方たちと常に向き合っって色々な質問、疑問等々に、一人でもいいですし、何人かの議員が集まって、そこに行つて説明したり、色々なことをしていく。今回の議会で



はこの様なことが決まりましたよ、市民生活にはこうやって影響がありますよ、いい影響、ちよつと負担はありますねとか色々あると思います。そういうことをしっかりとやっていったりまた質問をいただく、意見交換をしていく中で、共通理解をしていく。未来の上野原市志向でやっていければ良いと思います。



東山洋昭
議員

第3回定例会 傍聴のご案内

市議会は公開されており、どなたでも傍聴できます。ご希望の方は、会議当日、市役所3階議会事務局受付までお越しください。
第3回定例会日程の予定は、以下のとおりです。



- 9月 8日(火) 本会議(議案上程等)
- 10日(木) 総務産業常任委員会
- 14日(月) 文教厚生常任委員会
- 15日(火) 本会議(一般質問)
- 16日(水) //
- 17日(木) // (予備日)
- 18日(金) 決算特別委員会
- 24日(木) //
- 25日(金) // (総括質疑)
- 29日(火) 本会議(議案審議等)

訂正とお詫び

第41号議会だより6-7頁『平成27年度一般会計当初予算の対前年比』の記事に誤りがありました。正しくは、次のとおりです。訂正して、お詫びいたします。

【誤】対前年比3億4,192万9千円減 → 【正】対前年比3億4,192万9千円増

議会活動

4月

- 1日 上野原市消防団辞令交付式
- 3日 議会だより編集常任委員会
- 4日 日本大学明誠高等学校入学式
- 6日 上野原市立小学校入学式
- 7日 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 8日 上野原高等学校入学式
- 10日 議会だより編集常任委員会
- 14日 第253回山梨県市議会議長会定期総会
- 17日 議会だより編集常任委員会
- 19日 第63回秋山地区慰霊祭
- 26日 第11回上野原市バレーボール連盟春季大会
第36回福祉芸能大会
- 27日 文教厚生常任委員会
- 28日 議会だより編集常任委員会
上野原市区長会通常総会
- 29日 大目地区戦没者慰霊祭
- 30日 議会運営委員会・議員全員協議会

5月

- 10日 秋山地区消防団春季訓練
- 16日 市制施行10周年記念第11回太陽のつどい
- 17日 市制施行10周年記念式典
- 18日 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会
- 20日 主要地方道上野原丹波山線今川トンネル建設促進期成同盟会総会
- 21日 関東市議会議長会支部長会議（水戸市）
上野原市母子寡婦福祉連合会総会
上野原市商工会第10回通常総代会
- 27日 関東市議会議長会第2回理事会（水戸市）
第81回関東市議会議長会定期総会（水戸市）
- 29日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 30日 上野原市障害者福祉会第9回定期総会
- 31日 上野原市体育祭り

6月

- 1日 全国自治体病院経営都市議会協議会第43回定期総会
- 5日 第2回定例会（開会）
- 9日 総務産業常任委員会
- 11日 文教厚生常任委員会
- 14日 八重山トレイルレース大会
- 15日 市政一般に関する質問
議会だより編集常任委員会
- 16日 市政一般に関する質問
- 17日 全国市議会議長会第19回定期総会
- 18日 第110回市議会議員共済会代議員会
- 19日 第2回定例会（閉会）
- 22日 山梨県市町村振興協会定時評議員会
- 24日 議友会総会
- 25日 上野原市観光協会定期総会
- 30日 主要地方道上野原あきる野線建設促進協議会定期総会

市民の声



上野原青年会議所 副理事長
（二〇〇九年度・二〇一一年度
理事長）
植松正弘さん

『うえのはらの未来（あす）にむかって』

現在、政府は地方創生の動きを推進しています。それは地方自治体の在り方としてより独自性が求められる変革の時代に入ると思います。今後のまちづくりに対して、官民一体となりしっかりと議論した上での中長期ビジョ

ンを見据えた成長戦略が必要であると思います。現在、上野原市においてもスパー雑穀キヌアを使った六次産業の独自パッケージを打ち出しています。地域の問題解消としても、モデルケースになるのではないかと思います。

これは選挙前に複数の立候補予定者の方をパネリストに迎え、公平・公正なルールのもと意見や考えを聞く事のできる事業です。所属している上野原青年会議所の理事長として二〇〇九年、二〇一一年に「上野原市長選挙

公開討論会」上野原市議会議員選挙公開演説会」を開催しました。当時、上野原市において初の事例でしたが、皆さんのご理解と、メンバーの協力のおかげで開催する事が出来ました。このような事業をはじめ、明るい豊かなまちづくりへの架け橋として、取り組んで参りたいと思います。

私たち若い世代も、責任世代として、市民参加型のまちづくりの動きがうねりとなり「未来（あす）の上野原」につながっていく事を望みます。

編集後記

表紙の写真は、上野原小学校で行われた手話教室の一場面です。校長先生の発案で、また子ども達からの要望もあり、「手話の街を創る会」にお願いして実現しました。

土曜日の空き時間を利用しての「上小チャレンジ」という活動でしたが、この取り組みがさらに輪を広げて、上野原全体が笑顔あふれる、バリアフリーのまちになることを願っています。

議会だより編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 長田喜巳夫 |
| 副委員長 | 久嶋成美 |
| 委員 | 川島秀夫 |
| 委員 | 東山洋昭 |
| 委員 | 川田好博 |
| 委員 | 遠藤美智子 |



発行 / 上野原市議会 山梨県上野原市上野原 3832 番地

編集 / 上野原市議会だより編集常任委員会

TEL : 0554-62-3344 (直通) FAX : 0554-62-5344

URL : <http://www.city.uenohara.yamanashi.jp>

E-mail : gikai@city.uenohara.lg.jp

印刷 / カヤマ印刷
上野原市上野原 3768
TEL 0554-63-0188